

「地域の秋まつり」に訪問看護ステーション野の花が参加



※許可を得て掲載しています

「令和5年度大安寺西地区ふれあい秋まつり」が11月3日(文化の日)爽やかな秋晴れの中、奈良県立図書情報館広場にて開催されました。9:30から地域の子もたちが、みこしを担ぎ場内を「わっしょい!わっしょい!」と元気な声で練り歩き、秋祭りの開催を告げスタートしました。エンターテイメントエリアでは、キッズダンスショー・地域住民のご婦人方による太極拳・大正琴・日本舞踊の披露がおこなわれ、優雅な時間を過ごしました。庭園広場では、防災グッズの展示・ワークショップ・フリーマーケット、巨大あみだくじ・わなげなどのお楽しみコーナー、フランクフルトなどの出店もありました。福祉・医療コーナーも設けられ、済生会奈良病院は、病院に勤務する新人ナースたちが血圧測定などを行い、地域住民の「健康相談」に応じました。ケアプランセンターすずらんは「花と剣の風船アート」を希望者にプレゼントしたため100名の長蛇の列ができる人気となりました。三笠包括支援センターは、認知症見守り模擬訓練ツールを用いた、かくれんぼスタンプラリーを実施し115名が参加しました。訪問看護ステーション野の花は、「訪問看護の相談」と「薔薇の手づくりマグネット」フェルトを用いて制作する催しを行い、幼稚園児から高齢者まで幅広い年齢層 50名が作成に挑戦し、色とりどりの薔薇の花が咲きました。



新型コロナウイルス感染拡大から4年、5月には5類感染症に認可され、地域に元の生活が戻ってきているんだなと実感する機会となりました。また、大安寺西地区の地域住民が一丸となって、地域を元気にしたい！楽しい時間を過ごしてほしい！と願い開催された熱い思いが轟々と伝わってくる「秋まつり」でした。今回、貴重な経験をさせていただいたことに感謝し、病院理念である『心ある医療』を实践し、地域・社会に貢献したいと心から思う1日となりました。

済生会奈良病院 訪問看護ステーション野の花 所長：丸山節子

奈良県看護協会 訪問看護師養成講習会を受講している看護師が

野の花の看護師に同行し研修しました。そして写真撮影！



プレゼントした写真



訪問看護養成講習会は、訪問看護に必要な基礎知識・技術・態度を修得し、より質の高い看護ができる訪問看護師を育成することを目的に奈良県看護協会が開催しています。

11月8日～10日の3日間、某急性期病院で認定看護師として勤務している看護師が、訪問看護師に同行し研修を受けました。その看護師は、野の花の利用者さんが通院している病院の認定看護師で処置内容や治療についてなど連絡ノートでやり取りし、情報共有をしている方でした。利用者さんから話を聞いていたこともあり、まさかの出会いに一同驚き、嬉しさが込み上がりました。その頃、利用者さんは、全身麻酔下で消化器手術療法を受けられた直後でした。その利用者さんを励ますために、野の花の看護師と共に写真撮影し、応援メッセージを添え、一日でも早く退院されることを願ってプレゼントすることにしました。この写真は、研修生が病院に戻られた際に、利用者さんに渡してもらうよう託しました。

研修生である認定看護師の同行訪問では、沢山相談し多くの助言をいただきました。利用者さんや私たちの学びの機会となり、有益であったことに心から感謝しています。

研修生からは、「他施設との情報共有や家族との関りあい方が重要であることがわかりました。利用者さんの在宅での生活状況を知ることができました。スタッフ同士で相談がしやすく、利用者さんのことを考えてカンファレンスをされているのを見て、自分の看護を考えさせられました。」と感想をいただきました。

私たち野の花は、病院理念である『心ある医療』を実践し、継続した学びを大切にしながら訪問看護を提供して行きます。

訪問看護ステーション野の花 所長 丸山節子

済生会奈良病院フェアに、訪問看護ステーション野の花が参加!フェアでも、催しもの会場で「薔薇のマグネット作り」をおこないました。



済生会フェアオープニングでは、フルーツとピアノの演奏から始まり、奏でるメロディの中、フェアが開幕し 60 名の来場がありました。

ホール前の催しもの会場では、管理栄養士による栄養相談、看護師による健康相談、医療相談員による医療費や制度に関する相談ブースが設けられました。



訪問看護ステーション野の花では、催しもの会場の一角で「簡単 薔薇のマグネット作り」を開催しました。25 名余りの来場者が、フェルト布で思い思いの薔薇を手作りされました。

「長年旦那様を介護してきたの」「訪問看護って家に看護師さんが来てくれるの?」など、話す機会をいただき、貴重な時間を共に過ごせたことに感謝いたします。有難うございました。

訪問看護ステーション野の花 所長:丸山節子

今日も訪問に行く

病気や障害をもちながら、独居で生活支援を受けて毎日を頑張っています。制作活動、機能訓練やレジャー活動などを通して生活の質を高める支援を目的に通う作業所に通うなかで、たまにお出かけ日があります。先日作業所の利用者とスタッフで水族館に行ってきました。



あまりの可愛さに一目ぼれ！
つい買ってしまった（笑）

看護師も、あまりのエモ可愛さに癒されました。

胃ろう造設のために入院しました。退院前に、入院先の病院を訪れて、本人さんとご家族、病院のスタッフ、ケアマネ、在宅医、訪問介護、訪問看護師の一同が集まり、退院に向けて情報交換、情報共有をしました。現在の活動範囲、在宅での注意点など、直接リハビリの先生から教えていただき、ご家族だけでなく、看護師、介護士もとても安心出来ました。利用者さんが安心して在宅生活ができるように、私たちはどこでも行きますよ～



ご本人、ご家族の許可を得て掲載しています

訪問看護ステーション野の花

訪問看護認定看護師 中田幸子

今年も、訪問看護ステーション野の花の看護師が 2023年奈良マラソン救護班に参加！



救護に関わった人たち



第1救護所の仲間



救護の様子



救護の様子

※許可を得て掲載しています

12月10日(日)に2023年奈良マラソンが開催されました。訪問看護ステーション野の花の看護師2名が救護班として参加するのは今年で3年目となります。

この日は、11月中旬並みのお天気で気温は15度を超え、天候に恵まれ、1万4,000人が奈良マラソンに参加しました。スタート地点では、女子マラソン五輪メダリストの有森裕子さんや元マラソン選手の瀬古利彦さん、せんとくんらが見守る中、生駒中学校吹奏楽部による「若草山ファンファーレ」が鳴り響き、号砲の音と共に、風速1m~2m木の葉が動く程度の風の中、ランナーが一斉に走り出しました。

42.195kmフルマラソンの経路は、ルート奈良鴻ノ池パーク(奈良市法蓮佐保山4丁目)から、平城宮跡付近や奈良公園を通り、天理市役所付近で折り返すコース。

10kmマラソンは、春日大社や東大寺周辺をそれぞれのペースで走り抜けました。

医師・看護師・理学療法士・作業療法士・柔道整復師・AED 隊・業務調整員・救護所ボランティア担当者 147 名が救護に関わり、それぞれが 14 救護所に別れ救護に備えました。

私たちが担当したのは、ゴール付近に設置された第 1 救護所です。

第 1 救護所では、ゴールしたランナーが脱水症状や下肢のこむらかえりを起こし、担架や車いすで救護所へ運ばれ 111 名が来所、そのうち 4 名が救急搬送となりました。気温が高かったこともあり予想以上の来所者となりました。

全体では、救急搬送 12 名という過去最高の搬送数となり、各救護所対応も多く、厳しい業務となりましたが、命の危機に直面したランナーは 1 人も発生することなく、救護を無事終えることができました。

第 1 救護所では、医師 2 名・管理者 3 名・業務調整員 2 名・柔道整復師 1 名、理学療法士 1 名、ボランティア 2 名、看護短大学生若干名のチームで救護にあたりましたが、1 人 1 人が献身的かつ協調性があり、共通認識を持って役割を果たせる、素晴らしいチームでした。

奈良マラソンの救護所は災害時の訓練の場の一つとして運営されています。今回の救護所での活動は、災害時、人々のために役立てることができる経験であったことは言うまでもありません。

貴重な経験をさせてもらえた事に、心から感謝しています。ありがとうございました。

済生会奈良病院 訪問看護ステーション野の花 所長 丸山節子

今日も訪問へ行く！

～それぞれのクリスマス～



クリスマスおめでとう♥ケーキ食べよう

とメッセージを預かりました。

利用者様が季節に応じた着物を制作

されました。



旦那さんがクリスマスを感じられるよう、

奥様が、飾りつけをされていました。

「少しでも季節を感じてもらいたい」と

思いを語られました。



通っているデイサービスで季節を感じられる12月のカレンダーを作成されました。

毛糸を使った手づくりクリスマスツリーも素敵です。



介護職員等による吸引等研修の

実施の依頼・相談をお受けします

訪問看護ステーション野の花には、指導資格をもった看護師が在席
しています。介護人形を使い練習・指導ができます。

※ 近年在宅にも医療依存度の高い利用者さんが増加の傾向にあります。看護師だけ
でなく、介護士の方々にも吸引や注入などの実施を求められる機会も増えています。
訓練が必要なとき野の花の看護師にご相談ください。

済生会奈良病院訪問看護ステーション野の花

Tel 0742-34-9700

E-mil : houmon-nonohana@saiseikai-nara-hp.jp

担当者: 中田 幸子(訪問看護認定看護師・主任)・丸山 節子(所長)



今日も訪問へ行く！

たつ(辰・龍・竜)年へ、バトンタッチ!

本年も、残すところあと僅かとなりました。

うさぎからたつへ

バトンタッチ！！



利用者様・ご家族様・その他関係者の方々との関りの中で、沢山の学びがありました。皆様に多くのご縁を頂戴し、看護をさせていただけたことに、心より感謝申し上げます。

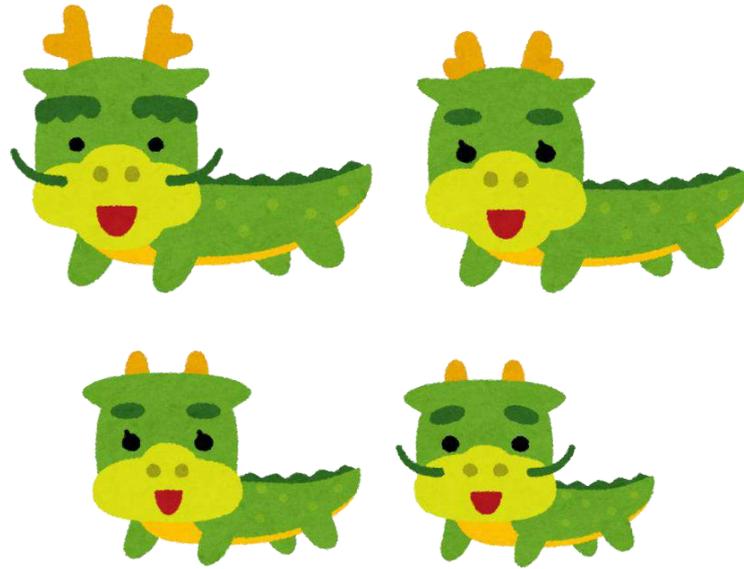
ありがとうございました!



利用者様の手づくり色紙



2024（令和6）年、たつ（辰・龍・竜）年は、陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。



また、たつ（竜、龍）は十二支の中で唯一空想上の生き物で、権力や隆盛の象徴であることから出世や権力に大きく関わる年となるようです。

飛 龍





訪問看護ステーション野の花は、より一層の質の向上を目指して、学び・わかちあい・讃えあい、野の花看護とリハビリテーションを提供してまいります。

2024(令和6)年度も『心ある医療』を実践し、「野の花に来てもらって良かった」と言ってもらえること宜しく願いいたします。

それでは、良いお年をお迎え下さいますことをお祈り申し上げます。

🐉訪問看護ステーション野の花 所長：丸山節子🐉

